

2018年度 交換留学 留学報告書

国際交流学科 2年

留学先：アメリカ ローズmontカレッジ

留学期間：2018年8月～2019年5月

この留学において自分が一番熱中したことは勉強です。私はもともと国際関係がメジャーですが、現地で様々な授業を取る中で社会学がとても興味深かったです。特にアメリカで一番大きな問題となっている人種差別はすべての社会問題と結びついていて、今まであまり差別についての知識も経験もなかった私ですが、現地の生活に肌で触れ、現地の学生と意見を交換し合うことでとても実感することができました。

また、国際ビジネスの授業は毎回ディスカッションベースでした。最初は何を言っているのか理解できないところから始まり、理解ができてもなかなか手をあげて自分の意見を言えない期間もありました。しかし、途中からはたとえ誰かの反対意見だとしても自分の意見をはっきりと言えるところまで成長しました。最初は全く勇気が出ず、不安しかありませんでしたが積極的に参加することで得た学問の楽しさや友達との関わりがとても大きかったです。

現地では特に自己アピールの大切さを学びました。授業は必ず一列目に座り、最初の授業では自分が留学生であり、サポートが必要なことを教授全員に伝えました。積極的に自分の考えをオープンに伝えることがどれだけ大切なことか身にしみてわかりました。やってみたいと思うことはすべてチャレンジしました。現地の留学課でインターンシップをしたり、積極的にイベントに参加し友達を作ったりしました。

この留学を通して気づいたことは、自分には人脈を大切にし、多くの人に支えられているということです。日本にいる家族はもちろん、友達、現地で作った友達などたくさんの人からのサポートを受けていました。留学中に大きな壁に直面した際、日本から支えてくれた人もたくさんいましたが、アメリカでは自分でなんとかしようと思いました。けれど一人の力ではどうにもならないこともありました。そんな時に現地でたくさんの友人や教授などが助けてくださいました。日常ではあまり気づかない些細なところでも、たくさんの方で自分は支えられているのだと思いました。